伊勢志摩サミット三重県民会議第５回総会

事項書

日時：平成 30 年３月 28 日（水）
10：00～11：30
場所：県庁　講堂

１　開会

２　報告事項
（１）伊勢志摩サミット三重県民会議平成 29 年度事業報告【資料１】

（２）三重県の平成 30 年度ポストサミットの取組【資料２】

３　審議事項
（１）伊勢志摩サミット三重県民会議の解散について【資料３】

（２）伊勢志摩サミット三重県民会議決算（見込み）について【資料４】

（３）伊勢志摩サミット三重県民会議の残余財産の処分等について【資料５】

（４）伊勢志摩サミット三重県民会議の解散に伴う清算について【資料６】

４　講演　「稼ぎにつながる“インバウンド戦略”
～観光大国を目指す日本の近道～」
原田 劉 静織氏

５　閉会

資料１

平成30年３月28日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

伊勢志摩サミット三重県民会議平成29年度事業報告

平成29年度に実施した伊勢志摩サミット記念館「サミエール」に係る取組について、次のとおりご報告します。

１　記念館の整備

（１）整備及びオープン

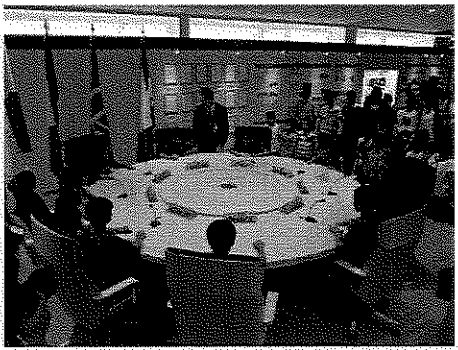
伊勢志摩サミット開催を記念し、サミットの概要や使用された調度品・県産材等の紹介を行うことなどにより、サミットのレガシー（資産）を次世代に引き継ぐ場として、伊勢志摩サミット記念館「サミエール」（以下、「記念館」という。）を賢島駅２階に整備し、平成29年５月26日（金）にオープンしました。

（※）オープンに先立ち、５月22日（月）、23日（火）には、伊勢志摩サミット三重県民会議（以下、「県民会議」という。）会員・顧問の皆様をはじめ、関係者の方々に対する内覧会を実施。

（２）階段昇降機の設置

平成29年11月22日（水）に、階段昇降機（車椅子ごと階段昇降可能なタイプ）を設置しました。（オープンから11月22日までの間は、可搬式階段昇降機で対応）

（５月26日の様子）



（３）「神宮スギ」の定植

記念館のオープンとあわせ、Ｇ７首脳等が植樹した「神宮スギ」を、賢島駅前ロータリーに定植しました。

２　記念館の運営

記念館全体の企画・調整は引き続き県民会議が実施し、日々の運営は協定等を締結し、志摩市が実施しています。

※志摩市において、平成29年12月24日、25日にはクリスマス特別企画「Ｇ７各国のお菓子プレゼント」を、平成30年１月１日～５日にはニューイヤー特別企画「志摩市特産品福袋プレゼント」を、１月２日には賢島駅１階で「恵利原　早餅つき保存会」による餅つきと餅の振る舞いを実施。

企画展示スペースについては、県民会議が企画調整を行い、県内各市町等による展示を実施しています。（別紙参照）

3　入館者の状況

オープン以来、記念館に併設の「カフェ サミエール」を含め、多くの方にお越しいただいており、入館者の状況は以下のとおりとなっています。

平成２９年5月２６日（金）～平成３０年3月２５日（日）　　１８１，９５０人

（※入館者カウンターでの計測による）

※平成29年7月23日に5万人達成、10月2日に10万人達成し、志摩市がセレモニーを実施。

4　「伊勢志摩サミット記念館『サミエール』の運営に関する会議」の開催

平成29年12月17日（日）、「伊勢志摩サミット記念館『サミエール』の運営に関する会議」を「カフェ　サミエール」において開催し、有識者の方々に、今後の記念館運営や広報活動等について御意見をいただきました。

いただいた御意見も参考に、引き続き、魅力的な記念館となるよう取り組みます。

（１）御意見をいただいた有識者の方々

銭谷　眞美　様

東京国立博物館　館長

田中　里沙　様

事業構想大学院大学　学長　教授

株式会社宣伝会議　取締役　メディア・情報統括

山田　桂一郎　様

ＪＴＩＣ．ＳＷＩＳＳ 代表

スイス・ツェルマット観光局日本語インフォメーション・セールス　プロモーション担当

坂　美幸　様

月兎舎　季刊「ＮＡＧＩ」編集長

更岡　あずさ　様

志摩市国際交流協会　理事

（２）主な御意見

- 想像していたよりも、良い内容だった。良く考えて作られていると思う。
- この記念館のターゲットを明確にすべき。地元の人なのか、子どもたちとするのか、観光客とするのかでは運営の方法や情報発信の仕方も異なる。
- 記念館の今後の運営を検討する上で、入館者数はわかっているものの、属性が不明であるため、今後調査した方が良いと思う。
- カフェ奥のスペースを活用して、企画展示と連動した講演やイベントの実施など、地元の人が利用できるようになれば良いのではないか。
- ウェルカムゾーンにある、ＩＭＣアネックスで使用された部材で構成する展示は、初めて見る人には説明が不足していると思う。
- 常設展示と企画展示スペースの区分けがされておらず、唐突感がある。企画展示スペースであることがわかるようにすべき。

等

資料１別紙

企画展示スペースでの展示実績及び今後の予定

１　平成２９年度実績

実施期間	実施主体	テーマ
平成 29 年 5 月 26 日～平成 29 年 6 月 30 日	志摩市	志摩市のまつり
平成 29 年 7 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日	志摩市	志摩市の体験観光スポット
平成 29 年 8 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日	志摩市	志摩市の文化財
うち 8 月 5 日～8 月 15 日	三重県	平和啓発パネル展 ー未来につなぐ平和への想い
平成 29 年 9 月 1 日～平成 29 年 9 月 29 日	四日市市	四日市コンビナートの夜景
平成 29 年 9 月 30 日～平成 29 年 10 月 31 日	鳥羽市	海女と真珠のふるさと　鳥羽
平成 29 年 11 月 1 日～平成 29 年 11 月 30 日	東員町	東員町　～ＯＭＩＧＯＴＯＩＮ「おみごと！」があふれる町へ～
平成 29 年 12 月 1 日～平成 29 年 12 月 26 日	亀山市	伊勢の国　亀山探訪
平成 29 年 12 月 27 日～平成 30 年 1 月 31 日 (※1)	津市	おいでよ！津市～受け継がれる歴史！あふれる自然！おいしいもん、たっくさん！～
平成 30 年 2 月 1 日～平成 30 年 2 月 28 日	いなべ市	いなべ市～三重県最北端の自転車の聖地～
平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 3 月 30 日 (※2)	名張市	来てだあこ、見てだあこ、暮らしてだあこ　名張市

※1　1 月 20 日（土）9 時～17 時は、賢島駅のコンコースで足湯体験も実施。（主催：津市）
※2　3 月 24 日（土）10 時～15 時は、企画展示スペースで名張市のシティプロモーションイベント（アンケート回答者対象の抽選会等）も実施（主催：名張市）

2　平成３０年度予定

実施期間	実施主体	テーマ
平成30年3月31日～平成30年4月27日	明和町	明和町～日本遺産「祈る皇女斎王のみやこ　斎宮」～
平成30年4月28日～平成30年5月18日	伊勢市	(未定)
平成30年5月19日～平成30年6月15日	三重県（※）	
平成30年6月16日～平成30年7月20日	桑名市	
平成30年7月21日～平成30年8月31日	志摩市	
平成30年9月1日～平成30年9月28日	伊賀市	
平成30年9月29日～平成30年10月31日	松阪市	
平成30年11月1日～平成30年11月30日	多気町	
平成30年12月1日～平成30年12月26日	御浜町	
平成30年12月27日～平成31年1月31日	大台町	
平成31年2月1日～平成31年2月28日	度会町	
平成31年3月1日～平成31年3月29日	木曽岬町	

（※）伊勢志摩サミット開催２周年&伊勢志摩サミット記念館「サミエール」開館１周年を記念した企画展示

資料2－1

平成30年度ポストサミットの概要

サミットの開催を一過性にせず、サミット開催による知名度等の向上や会議自体の成果、地域の総合力の向上といったサミットの「レガシー」を三重の未来に生かすため、具体的な取組を展開していきます。

具体的な取組（主な事業）

①人と事業を呼びこむ

【MICE誘致】 ◇海外MICE誘致促進事業
【インバウンド】 ◇自然公園ナショナルパーク化促進事業
「＃VisitMie」キャンペーン事業
◇海外誘客推進プロジェクト事業
【新たな国内交流人口の拡大】 三重まるごと自然体験促進事業
関西「めっちゃ近いぜ！おもしろいぜ！三重キャンペーン」事業
【食の産業振興】 農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業
「広がれGAPの輪」推進支援事業
◇日本酒の魅力発信・販路拡大支援事業
【国際戦略】 地域の魅力発信・販路拡大支援事業
外資系企業誘致促進事業
【移住・定住の促進】ええとこやんか三重移住促進事業
選ばれる南部地域を目指して推進事業

注)【インフラ整備】は平成30年度事業以降とりまとめ対象外としました。

②成果を発展させる

【安全・安心】 DONETを活用した津波予測・伝達システム等展開事業（一部）
テロ等対策（テロ対策パートナーシップ）
【サミットの聖地】 ◇未来につなぐ平和発信事業
◇国際ウィーク等推進事業(一部)
【保健】 認知症ケア医療介護連携事業（一部）
【女性等の活躍】 みえの輝くロールモデル創出事業
◇農福連携全国都道府県ネットワーク形成・強化事業

③次世代に継承する

【次世代育成】 ◇大学生版サミット開催事業
◇世界へはばたく高校生育成支援事業

注）事業名に◇印を付したものは伊勢志摩サミット基金が充当される事業です。

④戦略的・効果的な情報発信

【戦略的プロモーション】 広聴広報アクションプラン推進事業（一部）

持続的に発展する三重の未来へ

サミットのレガシー

・地域の総合力の向上
・会議自体の成果
・知名度等の向上

平成30年度ポストサミット事業一覧

資料2－2

①人と事業を呼びこむ

(注)【インフラ整備】は平成30年度事業以降とりまとめ対象外

細事業名	事業概要	事業費(千円)	担当部局
【MICE誘致】			
海外MICE誘致促進事業費	安定的に開催地域への大きな経済波及効果を生み出す国際会議等MICEの開催を促進するため、県内主催者が国際会議を開催しやすい環境づくりや、セールス活動による県外関係者主催会議の誘致に取り組みます。	21,373	雇用経済部観光局
【インバウンド】			
世界に拓く東紀州観光地域づくり支援事業費	国内外からの来訪者に対応できるよう、東紀州地域の市町等が連携して行う観光地域づくりの取組を促進するため、外国人アドバイザーを派遣し宿泊施設等への助言等を行うとともに、観光専門人材の育成等を支援します。	5,855	地域連携部南部地域活性化局
熊野古道活用促進事業費(一部)	伊勢志摩サミット開催を契機として外国人旅行者の誘客を図るため、世界遺産熊野古道を核とした地域資源の魅力について、外国人目線での情報発信等に取り組みます。	4,990	地域連携部南部地域活性化局
自然公園ナショナルパーク化促進事業費	ナショナルパーク化をめざす伊勢志摩国立公園において、美しい自然景観等の魅力を国内外から訪れる利用者に十分体験していただくため、国立公園内のビューポイントの整備や地域資源の保全・活用に取り組みます。	88,640	農林水産部
	下段事業費:平成29年度2月補正(その1)含みベース	121,640	
三重まるごと自然体験インバウンド促進事業費	インバウンドの拡大につながる自然体験プログラムの充実を図るため、自然体験活動団体のスキルアップや新たな体験プログラム創出を支援します。	5,485	農林水産部
「#VisitMie」キャンペーン事業費	伊勢志摩サミットの効果を持続させるとともに、日本を訪れる外国人旅行者の旅行ニーズの多様化や地域の特色を生かした体験型観光への需要の高まりに対応するため、SNSを活用した投稿参加型キャンペーンの実施や外国人向け体験プログラムの流通の促進を図ります。	11,520	雇用経済部観光局
ゴルフツーリズムの確立による新規需要開拓事業費	日本初となる「IAGTO第一回日本ゴルフツーリズムコンベンション(三重県開催)」の好機を生かし、富裕層やスポーツに関心の高い欧米からの観光客誘致を図るため、ゴルフをテーマにした誘客プロモーションを展開します。	20,680	雇用経済部観光局
海外誘客推進プロジェクト事業費	インバウンドの拡大を図るため、欧米・アジアからの富裕層等の誘客に取り組むとともに、個人の外国人旅行者(FIT)の増加をふまえたSNS等による情報発信や海外からの教育旅行の誘致に取り組みます。	37,419	雇用経済部観光局
【新たな国内交流人口の拡大】			
熊野古道活用促進事業費(一部)	熊野古道世界遺産登録15周年に向けて、熊野古道への来訪を促進するため、子どもや若者等を対象とした保全活動体験など熊野古道の価値を次世代に伝える取組、伊勢路ナビやスマホ向けスタンプラリーなど伊勢から熊野までの観光スポットを紹介しつなぐ取組、情報発信等を進めます。	13,445	地域連携部南部地域活性化局
南部をめぐるバイク旅促進事業費	複数市町が連携して行う、ライダーに向けて南部地域の魅力ある観光スポット等の情報を発信することで誘客促進や産業振興等を図る取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。	5,000	地域連携部南部地域活性化局
三重まるごと自然体験促進事業費	三重県が誇る豊かな自然を、「体験」という形で生かし、多くの人を呼び込み、交流の拡大を図るため、自然体験活動を展開する人材の育成、自然体験プログラムの創出、県内外への積極的な情報発信に取り組みます。	17,935	農林水産部
戦略的営業活動展開推進事業費	地域のブランド力の向上、県内への誘客や販路拡大を図るため、三重テラスを中心に、日本橋エリアの関係団体や他県アンテナショップ等の企画やイベント等と連携し、首都圏でのさらなるネットワークの強化と拡大に取り組むとともに、三重の魅力を強力に情報発信する営業活動を展開します。	8,368	雇用経済部
関西圏営業基盤構築事業費	関西圏における三重の認知度向上を図るため、関西圏営業戦略(改定版)に基づき、県内市町・団体等との連携を図りながら「情報発信の強化」、「観光誘客」、「食の販路拡大」の3つの柱で営業活動を展開するとともに、これらを支える「多様なネットワークの充実・強化」に取り組みます。また、三重の自然・歴史・文化といった魅力に加え、U・Iターン就職の支援、移住・定住の促進、企業誘致の推進など、県の主要な施策の情報発信を行います。	5,847	雇用経済部
関西「めっちゃ近いぜ!おもしろいぜ!三重キャンペーン」事業費	本県の宿泊者を増加させるため宿泊比率の高い関西圏にターゲットを絞った宿泊促進を図るキャンペーンを実施します。	8,580	雇用経済部観光局

細事業名	事業概要	事業費(千円)	担当部局
【食の産業振興】			
選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業費	東紀州地域の市町や関係団体が連携して行う地域産品の高付加価値化や販路拡大等、選ばれる東紀州地域をめざす取組を支援します。また、観光サービスのブラッシュアップ等、来訪者の満足度の向上を図る取組を支援します。	9,123	地域連携部南部地域活性化局
農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業費	情報発信力の強いラグジュアリーホテル等や富裕層をターゲットとするプロモーション活動を展開し、県産農林水産物の評価や魅力を高め、東京オリ・パラで使用される食材としての地位確保に努めます。	3,858	農林水産部
「広がれGAPの輪」推進支援事業費	GAPの取組の拡大を図るため、指導員の育成や認証取得支援、農業大学校での学習環境の整備等に取り組むとともに、有機JAS認定取得の支援などに取り組みます。	21,903	農林水産部
東京オリ・パラへの畜産物供給体制構築事業費	県産畜産物の東京オリ・パラでの採用に向け、高品質ブランド和牛の生産体制の構築や、エコフィード等の利活用によるECO畜産物供給体制の構築等に取り組みます。	16,333	農林水産部
JGAP家畜・畜産物等の導入加速化推進事業費	JGAP家畜・畜産物の認証取得を加速するため、指導人材の育成等により、普及・指導体制の強化に取り組みます。	4,304	農林水産部
東京オリ・パラを契機とした県産材の販売力強化促進事業費	東京オリ・パラ関連施設等への県産森林認証材等の採用や、オリ・パラ後の販路拡大につなげるため、首都圏でのプロモーションや他地域と差別化したブランド戦略の推進に取り組みます。	2,801	農林水産部
東京オリ・パラに向けたみえの水産物販売力強化事業費	東京オリ・パラへの食材供給なども見据え、国内外における県産水産物の販路拡大を図るため、持続可能性を確保した漁業の認証取得等に向けた支援のほか、食材調達基準を満たす県産水産物等の販売力強化等に取り組みます。	3,514	農林水産部
県産園芸品目海外販路拡大事業費	県産園芸産品の海外販路拡大に向け、柑橘などの輸出環境課題の解決を図る取組を進めるとともに、米国における伊勢茶のプロモーションや、EUの防除基準に対応した茶の防除暦の作成等に取り組みます。	2,787	農林水産部
三重の畜産物海外展開サポート事業費	アジア経済圏をターゲットとして、県産畜産物の商談機会の提供や商談成立に向けた支援を行うなど、県内畜産事業者の主体的な輸出取組をサポートします。	1,120	農林水産部
三重の畜産物海外新市場開拓事業費	県産ブランド牛肉等への高いニーズが期待できる台湾をターゲットに、現地商談機会の創出や効果的な情報発信等に取り組むなど、県産畜産物の輸出促進に向けた県内畜産事業者の主体的な取組を支援します。	2,660	農林水産部
魅力あるみえの水産物輸出力強化事業費	伊勢志摩サミット開催を契機に世界的に評価の高まった県産水産物について、海外における和食人気の高まりに伴う海外日本食レストランの増加をチャンスと捉え、県産水産物の恒常的な輸出を図るため、商談会や販売促進活動などの機会を創出します。	2,645	農林水産部
海女漁業の魅力発信事業費	鳥羽・志摩地域への集客・交流を図り、海女の収入向上に繋げるため、首都圏等でのイベントを通じ、海女漁業の魅力などの発信に取り組みます。	1,017	農林水産部
東京オリ・パラに向けた三重の農産物販売力強化促進事業費	東京オリ・パラにおける多様な需要に対して、米・野菜・花き花木等の県産農産物を供給するため、首都圏の食品関連事業者、緑化事業者など、実需者をターゲットとするプロモーションや、保存性の高い加工野菜の商品化などに取り組みます。	4,382	農林水産部
東京オリ・パラを契機とした県産食材販売拡大チャレンジ事業	食材調達を担うケータリング事業者向けレセプションでのPRなど、プロモーション活動を展開し、県産農林水産物の評価や魅力を高め、東京オリ・パラを契機とする県産農林水産物の販売拡大を図ります。	4,142	農林水産部
食のローカル・ブランディング推進事業費	「みえの食」のブランドイメージを向上させ、新たな市場の獲得を進めるため、本県の食関連産業の特長を生かした多様な連携を推進し、洗練された商品やサービスを創出するとともに、付加価値を高められるさまざまな販路拡大に取り組みます。	15,078	雇用経済部
「みえの食」儲かる輸出ビジネスサポート事業費（一部）	県産品の輸出拡大を図るため、東アジアやアセアンをターゲットに国際見本市等への出店及び海外に販路を持つバイヤーの県内への招へいを行い、企業間取引(BtoB)の商談機会を確保するとともに、「みえの食レップ」による海外バイヤーとの交渉のサポート等に取り組みます。	23,759	雇用経済部
食の高度人材輩出プラットフォーム構築事業費	食関連産業の高付加価値化を担う人材を育成するため、産学官によるコンソーシアムを設置し、食関連産業の求める人材像を明確化するとともに、人材育成に向けた体系づくりを進めます。	2,122	雇用経済部
日本酒の魅力発信・販路拡大支援事業費	「三重の日本酒」について、ヨーロッパ向けの輸出及びブランド価値の向上を図るため、パリにおいてヨーロッパの主要都市の富裕層をターゲットとして、日本に関心の高いシェフやバイヤー、一般消費者などにプロモーションを実施し、輸出実績の少ないヨーロッパへの展開のきっかけづくりを行います。	6,282	雇用経済部

細事業名	事業概要	事業費（千円）	担当部局
【国際戦略】			
地域の魅力発信・販路拡大支援事業費	県産品の販路拡大や観光誘客を図るため、重点国として位置づけているベトナムや、日台観光サミットの本県での開催から5周年を迎えるとともに、新たな大規模商業施設がオープンする絶好の機会を得る台湾において、三重県フェアを開催し、三重の地域の魅力を情報発信します。	12,153	雇用経済部
外資系企業誘致促進事業費	外資系企業による県内への投資を呼び込むため、国・ジェトロ及びGNI協議会との連携や海外ミッション等で構築したネットワークの活用、外資系企業ワンストップサービス窓口の活用などによる誘致活動に取り組みます。	9,676	雇用経済部
【移住・定住の促進】			
ええとこやんか三重移住促進事業費	市町や関係機関と連携し、地域の小規模事業者や伝統産業の承継（担い手）など、多様な就労情報を掘り起こすとともに、大都市圏においてプロモーションを展開することなどにより、ワークもライフも充実した三重での「暮らし方」の魅力を発信します。また、移住の決定に有効な、地域との交流機会を創出する現地訪問への誘導を強化します。	37,421	地域連携部
移住促進のための市町支援事業費	多様な就労情報の掘り起こしやワークもライフも充実した「暮らし方」の発信について、その効果的な方法や課題を県・市町が相互に情報共有し、検討する機会を設けます。	360	地域連携部
選ばれる南部地域を目指して推進事業費	地域おこし協力隊等を対象に、活動内容に合わせたアドバイスや研修を行います。また、南部地域での生き生きとした暮らし等を情報発信するとともに、地域への関心を深めるための交流会を開催するなど、市町の定住に向けた取組について、南部地域活性化基金等を活用して支援します。	7,936	地域連携部 南部地域活性化局

②成果を発展させる

細事業名	事業概要	事業費（千円）	担当部局
【安全・安心】			
DONETを活用した津波予測・伝達システム等展開事業費（一部）	伊勢志摩サミットの開催を契機に地震・津波対策として導入した「DONETを活用した津波予測・伝達システム」の南部地域7市町への展開を図ります。	27,076	防災対策部
安全安心まちづくり事業費（一部）	「安全で安心な三重のまちづくりアクションプログラム」を具現化する取組として、多様な主体の参加による「推進座談会」を行うとともに、県民大会を実施します。	553	環境生活部
テロ等対策費（一部）	テロの脅威が依然として厳しい中、伊勢志摩サミットを契機に設立した官民が一体となってテロ対策を推進する「テロ対策パートナーシップ」を持続的に発展させ、テロが起こらないまちづくりを実現します。	1,072	警察本部
【サミットの聖地】			
未来につなぐ平和発信事業費	伊勢志摩サミットの成果を生かし、被爆地広島との交流などを通じて、被爆・戦争関係資料を展示するとともに県内の若い世代を中心とした参加者が被爆・戦争体験者と意見交換できるような機会を設けます。	1,253	戦略企画部
国際ウィーク等推進事業費（一部）	伊勢志摩サミットのレガシーを三重の未来に生かすため、伊勢志摩サミット記念館「サミエール」による情報発信や「みえ国際ウィーク」などのポストサミット事業に取り組みます。	4,766	雇用経済部
【保健】			
認知症ケア医療介護連携事業費（一部）	認知症の早期発見・早期治療につなげるため、県内9か所の認知症疾患医療センターを設置して、地域の認知症医療提供体制の強化を図ります。また、医療と介護の連携強化等のため、バージョンアップされた認知症連携パスの普及・定着を図るとともに、市町に設置する認知症初期集中支援チームの活動をサポートします。	30,233	健康福祉部
みえライフイノベーション総合特区促進プロジェクト事業費（一部）	認知症の人やその家族、医療・介護関係者、企業等が意見交換できる仕組みを活用し、認知症の人やその家族にも目を向けた生活支援機器等の普及促進及びシーズとのマッチングによる新たな機器等の開発につなげるためのニーズ収集を行います。	4,253	健康福祉部
認知症地域生活安心サポート事業費（一部）	認知症の人と家族への地域での支援体制の構築に向けて、認知症サポーターのステップアップのための研修体制を整備するとともに、家族や本人からの相談を受け付ける認知症コールセンターを引き続き設置します。また、若年性認知症支援コーディネーターを配置し、若年性認知症の人と家族の個別相談支援を行うとともに、若年性認知症の人の就労支援のため民間企業を対象とした研修を実施します。さらに、高齢者虐待を防止するため、引き続き高齢者の権利擁護のための研修を実施します。	7,993	健康福祉部
【女性等の活躍】			
みえの輝くロールモデル創出事業費	県内の働く場における女性活躍の推進を支援する取組である「みえの輝く女子プロジェクト」の一環として、さまざまな職業分野において活躍する女性人材の掘り起こしを行い、ロールモデルを創出するアワード事業を展開するとともに、創出したロールモデルの取組を効果的に情報発信し、広く県内への浸透を図ります。	8,286	環境生活部
農福連携全国都道府県ネットワーク形成・強化事業費	「農福連携全国都道府県ネットワーク」との連携を強化する中で、全国の優良・先進事例の調査をふまえ、農福連携の効果の検証や発信などに取り組み、農福連携のさらなるステップアップにつなげます。	1,000	農林水産部
水産業と福祉との連携による次世代型モデル構築事業費	障がい者の就労機会の拡大を図るため、漁労作業の主要な場である海上における作業を安全かつ効率的に実践できるまでの育成プログラムを開発し、指導プロセスの標準化を進めます。	987	農林水産部

③次世代に継承する

細事業名	事業概要	事業費（千円）	担当部局
【次世代育成】			
大学生版サミット開催事業費	伊勢志摩サミットの開催成果を次世代につないでいくため、県内外の学生・留学生が討議や地元の方との交流を通して地域を知り、グローバルな視点から地域の課題を考える「UNICOM2018 第3回大学生国際会議in三重」（仮称）を開催します。	5,195	戦略企画部
高等教育機関と地域との連携推進事業費	伊勢志摩サミット開催により高まった郷土・三重に対する愛着・誇りをさらに発展させ、次代を担う学生に引き継ぐため、地域活動に関心がある県内高等教育機関の学生と課題を抱える地域のさまざまな主体とのマッチング等に取り組むことにより、学生の地域への関心を高め県内定着につなげます。	2,406	戦略企画部
世界へはばたく高校生育成支援事業費	高校生がグローバルな視野に立って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むため、県内外の高校生等が持続可能な社会づくりに向けてディスカッション等を行うみえ未来人育成塾や、レベル別のオールイングリッシュセミナー、海外研修等を実施するとともに、留学を促進します。また、科学分野の知識・技能を活用して課題を発見し、解決する力を育むため、高校生が探究的な活動を実践し、その成果を発表するみえ自然科学フォーラムを実施します。	16,679	教育委員会事務局
三重の英語教育改革加速事業費（一部）	中学生が三重の魅力を英語で一枚紙にまとめて発信する「ワン・ペーパー・コンテスト」を実施し、ふるさと三重を英語で発信できる力を育みます。	361	教育委員会事務局
「挑戦・交流・進化」で紡ぐ職業教育推進事業費（一部）	国際的な感覚と広い視野を持ち、何事にも果敢に挑戦し産業界で活躍できる人材を育成するため、工業高校専攻科の生徒を対象に、海外インターンシップを実施します。また、農業に関する実践力を身に付け、経営者や地域のリーダーとなり得る人材を育成するため、全ての県立農業高校で国際水準のGAP（農業生産工程管理）に関する教育を推進します。	6,708	教育委員会事務局
未来を拓く職業人育成事業費（一部）	高校生に地域の課題解決や活性化について主体的に参画する意欲や態度を育成するため、県内外の高校生が集い交流する高校生地域創造サミットを開催します。	2,614	教育委員会事務局

④戦略的・効果的な情報発信

細事業名	事業概要	事業費（千円）	担当部局
【戦略的プロモーション】			
広聴広報アクションプラン推進事業費（一部）	伊勢志摩サミット開催による知名度向上を生かし、さらなるイメージアップを図るため、首都圏等のメディアを対象とした取材誘致活動やニュースリリースの配信などのPR活動に取り組みます。	8,250	戦略企画部

	事業費（千円）
平成30年度ポストサミット事業費計	580,198
下段：平成29年度2月補正（その1）含みベース	613,198

資料2－3

平成30年度伊勢志摩サミット基金充当事業（充当額計44，274千円）

（単位：千円）

対象とした事業	細事業名	事業概要	充当額
サミット開催地としての実績を生かし、国際化の観点から人を呼びこむ等、「サミットの聖地」を具現化するための事業	海外MICE誘致促進事業費【一部】	伊勢志摩サミットの開催により飛躍的に高まった知名度を生かし、MICE開催地としての地位を確立すべく、県内主催者が開催しやすい環境づくりによる開催促進と、セールス活動による県外関係者主催会議の誘致に引き続き取り組みます。	11,092
	海外誘客推進プロジェクト事業費【一部】	ジュニア・サミット開催の実績を最大限に活用しながら、県内地域や学校と連携し、商談会でのPRなどを通じて、台湾からの教育旅行の誘致に取り組みます。	1,830
	熊野古道活用促進事業費【一部】	伊勢志摩サミット開催を契機として外国人旅行者の誘客を図るため、世界遺産熊野古道を核とした地域資源の魅力について、外国人目線での情報発信等に取り組みます。	3,165
	自然公園ナショナルパーク化促進事業費【一部】	ナショナルパーク化をめざす伊勢志摩国立公園において、美しい自然景観等の魅力を国内外から訪れる利用者に十分体験していただくため、国立公園内のビューポイントの整備や地域資源の保全・活用に取り組みます。	2,640
三重の未来を担う子どもや若者をグローカルな人材に育成する事業	大学生版サミット開催事業費	伊勢志摩サミットの開催成果を次世代につないでいくため、県内外の学生・留学生が討議や地元の方との交流を通して地域を知り、グローバルな視点から地域の課題を考える「UNICOM2018 第3回大学生国際会議in三重」（仮称）を開催します。	5,195
	世界へはばたく高校生育成支援事業費【一部】	高校生がグローバルな視野に立って自らの考えや意見を伝え、多様な人々と協働する力を育むため、県内外の高校生等が持続可能な社会づくりに向けてディスカッション等を行うみえ未来人育成塾を実施します。	487
	未来を拓く職業人育成事業費【一部】	高校生に地域の課題解決や活性化について主体的に参画する意欲や態度を育成するため、県内外の高校生が集い交流する高校生地域創造サミットを開催します。	2,614
	未来につなぐ平和発信事業費	伊勢志摩サミットの成果を生かし、被爆地広島との交流などを通じて、被爆・戦争関係資料を展示するとともに県内の若い世代を中心とした参加者が被爆・戦争体験者と意見交換できるような機会を設けます。	1,253
サミット開催を記念し県が直接行う事業	国際ウィーク等推進事業費【一部】	伊勢志摩サミットのレガシーを三重の未来に生かすため、伊勢志摩サミット記念館「サミエール」による情報発信や「みえ国際ウィーク」などのポストサミット事業に取り組みます。	4,766
食の産業振興のための事業及び農福連携の推進のための事業 ※知事が特に認める事業	食のローカル・ブランディング推進事業費【一部】	地域の特長を活かした地域商社機能の自立化、県産品の活用による飲食・宿泊業における付加価値向上に取り組むとともに、本県の食に関するストーリーにまとめ、発信することで、「みえの食」のブランド力を向上させ、付加価値の高い市場の獲得等につなげます。	2,973
	「みえの食」儲かる輸出ビジネスサポート事業費【一部】	県産品の輸出促進を目的とする「三重県農林水産物・食品輸出促進協議会」を中心に、バイヤーを招いた商談会の開催や、事業者同士が連携した商談会の開催など輸出に取り組む事業者を支援します。	486
	食の高度人材輩出プラットフォーム構築事業費【一部】	食関連産業の高付加価値化を担う人材を育成するため、産学官によるコンソーシアムを設置し、食関連産業の求める人材像を明確化するとともに、人材育成に向けた体系づくりを進めます。	991
	日本酒の魅力発信・販路拡大支援事業費	「三重の日本酒」について、ヨーロッパ向けの輸出及びブランド価値の向上を図るため、パリにおいてヨーロッパの主要都市の富裕層をターゲットとして、日本に関心の高いシェフやバイヤー、一般消費者などにプロモーションを実施し、輸出実績の少ないヨーロッパへの展開のきっかけづくりを行います。	6,282
	農福連携全国都道府県ネットワーク形成・強化事業費【一部】	「農福連携全国都道府県ネットワーク」との連携を強化する中で、全国の優良・先進事例の調査をふまえ、農福連携の効果の検証や発信などに取り組み、農福連携のさらなるステップアップにつなげます。	500

資料３（審議事項１）

伊勢志摩サミット三重県民会議の解散について

伊勢志摩サミット三重県民会議規約（以下「規約」という。）第１９条の規定により、下記のとおり伊勢志摩サミット三重県民会議（以下「県民会議」という。）を解散する。

記

１　解散の理由

県民会議の実施する主な事業が完了し、規約第２条に掲げる目的を達成したため。

２　解散年月日

平成３０年３月３１日

（参考　伊勢志摩サミット三重県民会議規約　抜粋）

（目　的）

第２条　県民会議は、地方創生のシンボル的存在となる「伊勢志摩サミット（以下「サミット」という。）」の成功を期するため、官民一体となった三重県全体の受け入れ体制を確立するとともに、併せて関連する事業の実施により、本県の活性化に資することを目的とする。

（解　散）

第 19 条　県民会議は、事業の目的を達成したとき、総会の議決を経て解散する。

２　県民会議が解散するときに有する残余財産は、総会の議決を経て処分する。

資料４（審議事項２）

伊勢志摩サミット三重県民会議の決算（見込み）について

平成２７年度から平成２９年度までの伊勢志摩サミット三重県民会議の決算（見込み）については、伊勢志摩サミット三重県民会議規約第１７条の規定に基づき、別添のとおり承認する。

（参考　伊勢志摩サミット三重県民会議規約　抜粋）

（予算及び決算）

第 17 条　県民会議の予算は、役員会の議決により定め、決算は、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

資料4（審議事項2） 別添1

平成30年3月28日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

伊勢志摩サミット三重県民会議　決算（見込み）（案）

収　入　（単位：円）

科目	項目	主な内容	H27決算	H28決算	H29決算見込み	合計
負担金	県負担金		(137,500,000) 139,000,000	(120,043,000) 120,043,000		(257,543,000) 259,043,000
		寄附金分	(150,000,000) 487,509,302	(300,000,000) 38,145,980		(450,000,000) 525,655,282
	市町負担金	志摩市、伊勢市、鳥羽市、南伊勢町	(13,000,000) 13,000,000	(13,000,000) 13,000,000		(26,000,000) 26,000,000
諸収入	雑入	ポスター協賛金、講演料等	(0) 1,555,100	(0) 848,950	(50,000) 50,000	(50,000) 2,454,050
繰越金	繰越金	前年度からの繰越金		(0) 429,439,638	(279,162,000) 279,162,485	- -
合計（ただし、繰越金を除く）			(300,500,000) 641,064,402	(433,043,000) 172,037,930	(50,000) 50,000	(733,593,000) 813,152,332

支　出　（単位：円）

科目	項目	H27決算	H28決算	H29決算見込み	合計
事業費	開催支援	(30,914,000) 23,744,203	(87,766,000) 50,817,706		(118,680,000) 74,561,909
	おもてなし	(51,887,000) 43,309,150	(58,579,000) 27,697,119		(110,466,000) 71,006,269
	明日へつなぐ	(15,940,000) 8,661,118	(144,204,000) 90,732,201	(277,001,000) 276,616,335	(437,145,000) 376,009,654
	三重の発信	(158,541,000) 109,592,718	(122,451,000) 116,179,131		(280,992,000) 225,771,849
	事業費計	(257,282,000) 185,307,189	(413,000,000) 285,426,157	(277,001,000) 276,616,335	(947,283,000) 747,349,681
事務局費	県民会議開催費	(2,300,000) 1,374,055	(2,066,000) 565,852	(547,000) 508,224	(4,913,000) 2,448,131
	事務局運営費	(40,918,000) 24,943,520	(17,977,000) 36,323,074	(1,664,000) 1,165,427	(60,559,000) 62,432,021
	事務局費計	(43,218,000) 26,317,575	(20,043,000) 36,888,926	(2,211,000) 1,673,651	(65,472,000) 64,880,152
合計		(300,500,000) 211,624,764	(433,043,000) 322,315,083	(279,212,000) 278,289,986	(1,012,755,000) 812,229,833

収入合計と支出合計の差（剰余金）　922,499

※1 収入及び支出の上段(　)は予算額

※2 H28決算のうち、事務局費（事務局運営費）は、「伊勢志摩サミット三重県民会議事務局財務会計規程」第9条に基づき、事業費（明日へつなぐ）からの予算流用により対応している。

※3 平成30年3月9日時点で判明している内容に基づき作成。下線部分は見込み数字であり、最終的な清算報告で変更になる可能性がある。

[illegible]

資料4（審議事項2） 別添2

平成30年3月28日
伊勢志摩サミット三重県民会議事務局

決算（見込み）関連資料　伊勢志摩サミット三重県民会議が実施した事業の支出内訳

（単位：円）

科目	項目	主な内容	支出額
事業費	開催支援	各国首脳等の歓迎・交流	12,408,850
		インフォメーション機能の整備等	10,968,550
		報道関係者等の歓迎・支援	15,322,501
		各国先遣隊歓迎夕食会、IMC完成記念祝典、伊勢志摩サミット開催記念セミナー及びレセプション～三重へのいざない～、三重のおもてなしバッグ	35,862,008
		計	74,561,909
	おもてなし	サミットフォーラムの開催	9,355,642
		クリーンアップ作戦・花いっぱい作戦	29,464,610
		カウントダウンボード、おもてなし向上研修等	32,186,017
		計	71,006,269
	明日へつなぐ	ジュニア・サミット参加者との交流等	6,882,148
		国際理解・国際交流プログラム等	11,117,750
		大学生・留学生との交流事業	5,785,366
		三重情報館の一般公開	16,804,478
		サミット協力宿泊施設経営向上支援補助金、三重の魅力再発見キャンペーン	39,597,700
		記録誌作成等	11,364,840
		伊勢志摩サミット記念館の整備等	102,158,817
		ポストサミットの取組（半年後イベント、伊勢志摩サミット三重県民宣言等）	5,138,555
		伊勢志摩サミット基金への拠出金	177,160,000
		計	376,009,654
	三重の発信	三重情報館の設置	45,047,050
		海外プレスツアー、プロモーション	102,806,362
		県内・県外イベントでのPR、ポスター等によるPR	63,929,737
		動画CMの放映	13,988,700
		計	225,771,849
	事業費合計		747,349,681
事務局費	会議開催費	総会、役員会、部会の開催	2,448,131
	事務局運営費	一般事務費、施設関係経費、PR調査委託、事務所移転費等	62,432,021
	事務局費合計		64,880,152
総計			812,229,833

※1 支出額は、平成27年度～29年度の合計。

※2 主な内容については、今回、改めて整理（同項目内でこれまでの区分と変更したものもあり）

※3 平成30年3月9日時点で判明している内容に基づき作成。下線部分は見込み数字であり、最終的な清算報告で変更になる可能性がある。

資料４（審議事項２）　参考

伊勢志摩サミット三重県民会議　決算（見込み）監査報告

伊勢志摩サミット三重県民会議
会長　　鈴木 英敬　様

伊勢志摩サミット三重県民会議規約第１７条の規定に基づき、伊勢志摩サミット三重県民会議の平成２７年度から平成２９年度までの会計収支（見込み）について、関係帳簿を監査したところ、その内容は適正なものと認めます。

平成３０年３月２２日

監事　三重県商工会連合会事務局長
遠藤修一郎

監事　三重県会計管理者兼出納局長
城本曉

資料５（審議事項３）

伊勢志摩サミット三重県民会議の残余財産の処分等について

伊勢志摩サミット三重県民会議（以下「県民会議」という。）の解散に伴う残余財産の処分等については、下記のとおり取り扱う。

記

１　残余財産の処分

（１）解散に伴う清算完了後に県民会議が所有する剰余金は、三重県へ拠出金として拠出する。

（２）県民会議が解散時に所有する剰余金以外の財産（内訳は別添のとおり）は、平成３０年４月１日をもって三重県へ譲渡することとし、三重県と財産譲渡契約を締結する。

２　契約上の地位の承継

県民会議が解散時に有する契約上の地位は、平成３０年４月１日をもって三重県が承継することとし、承継に必要な契約等を関係者と締結する。

資料5 別添

剰余金以外の財産

※平成30年1月31日時点

分類	番号	備品	数量	備考
記念館展示物	1	首脳会議用円卓・椅子、国名プレート	1式	机1卓、椅子9脚(別途椅子1脚を予備として保管)
	2	シェルパ机	2卓	受付台として使用
	3	首脳等記念植樹使用スコップ	1本	神宮でのG7首脳等による記念植樹においてオバマ大統領が使用(他首脳等が使用したスコップ(予備1本含む)は別途保管)
	4	芳名帳(サイン)	18枚	G7首脳等が記帳(別途オバマ大統領1枚、トゥスク欧州理事会議長1枚を保管)
	5	酒杯	1対	首脳ワーキング・ディナー及び総理夫人主催夕食会で乾杯に使用
	6	ナプキン	1枚	杉風荘での配偶者昼食会で使用
	7	箸置	1個	杉風荘での配偶者昼食会で使用
	8	平椀	1枚	杉風荘での配偶者昼食会で使用
	9	飯椀	1枚	杉風荘での配偶者昼食会で使用
	10	カップ＆ソーサー	1式	杉風荘での配偶者昼食会で使用 (別途予備1式あり)
	11	煎茶碗	1個	杉風荘での配偶者昼食会で使用
	12	ワインカップ	1個	杉風荘での配偶者昼食会で使用
	13	酒杯	1個	杉風荘での配偶者昼食会で使用
	14	ワイングラス	1個	ワイングラスのみ 杉風荘での配偶者昼食会で使用
	15	ランチョンマット	2枚	杉風荘での配偶者昼食会で使用
	16	サミットバッグ及び収納物品	2個	外務省がG7各国代表団及びプレス関係者に対して配布
	17	おもてなしバッグ及び収納物品	1式	県民会議がG7各国代表団及びプレス関係者に対して配布
	18	メッセージカード	2枚	配偶者に提供したお菓子に添付
	19	ドローン	1機	ドローン「INSPIRE 1」
	20	カップ＆ソーサー	1式	県民会議からG7首脳への贈呈品 ラッピング用品(木箱、飾り紐、中袋、風呂敷)を含む
	21	文箱＆ボールペン	1式	県民会議からアウトリーチ首脳への贈呈品 ラッピング用品(箱、包み紙、飾り紐、風呂敷)を含む
	22	ウエルカムメッセージ	1式	贈呈品とともに首脳へ贈った知事のウエルカムメッセージ

分類	番号	備品	数量	備考
記念館展示物	23	記録誌（県民会議）	1冊	別途予備保管あり
	24	記録誌（桑名市）	1冊	別途予備保管あり
	25	記録誌（伊勢市）	1冊	別途予備保管あり
	26	記録誌（鳥羽市）	1冊	別途予備保管あり
	27	ガラス看板、ヒノキ柱、木製すだれ、木製黒壁、欄干	1式	国際メディアセンターアネックスで使用したものの再利用
	28	記念館整備関係成果物等	1式	展示パネル、展示ケース、マルチモニター、映等ディスプレー、監視カメラ、階段上看板、電気設備、床材（タイルカーペット）、ドアストッパー等
記念館関係整備物	29	車椅子用階段昇降機	1式	本体のほか、レール、2階踊場転落防止手摺、電気設備等
	30	視覚障がい者誘導ブロック	1式	
	31	手摺用点字標示板	1式	
	32	その他	1式	階段前看板、床タイル等
神宮スギ記念植樹関係整備物	33	神宮スギ、周囲柵、案内板（賢島）	1式	賢島駅ロータリー内
	34	神宮スギ、周囲柵、案内板（Miemu）	1式	Miemu交流の広場内
その他	35	首脳等記念植樹使用Tシャツ等	1式	首脳等記念植樹、配偶者プログラム記念植樹で使用されたTシャツ、帽子、国旗等
	36	各国先遣隊への記念品等	1式	MIKIMOTOのブックマーク、伊勢型印傳の小銭入れ等
	37	PR・情報発信関係物品	1式	卓上式カウントダウンボード サミット関係各種のぼり、横断幕 三重県情報誌「和」他各種情報誌、英字新聞 サミットポスター 記念館オープン関係チラシ、ポスター 各種ノベルティ
	38	パトカーミニカー	1セット	サミット後開発された商品
	39	著作権		動画、ポスター等の著作権
	40	その他		各種協賛品（ハンカチ、マスク、ボールペン等） 各事業使用・配布物残 各種動画・雑誌類 各種消耗品・備品 等

資料６（審議事項４）

伊勢志摩サミット三重県民会議の解散に伴う清算について

伊勢志摩サミット三重県民会議（以下「県民会議」という。）の解散に伴う清算については、下記のとおり取り扱うこととする。

記

１　清算人の選任

県民会議の解散に伴う清算手続きを執行するための清算人として、伊勢志摩サミット三重県民会議事務局長（三重県雇用経済部次長）を選任する。

２　清算にかかる事務処理

県民会議の清算手続きが完了するまでは、伊勢志摩サミット三重県民会議事務局（三重県雇用経済部国際戦略課）において、現行の伊勢志摩サミット三重県民会議事務局規程に基づき、清算に必要な事務を処理する。

３　清算報告書の送付

清算人は、すべての解散手続きが完了した後、県民会議の構成員に対して、清算にかかる報告書を送付する。

名前　原田　劉　静織

株式会社ランドリーム　代表取締役
WILLER株式会社　取締役　　（兼任）
株式会社ビジョン　社外取締役　（兼任）

中国上海生まれ、上海外国語大学で日本語を専攻,
1996年来日,2001年3月 青山学院大学卒業後、IT企業を中心に
ビジネスデベロップメント＆マーケティングのポジションを歴任。

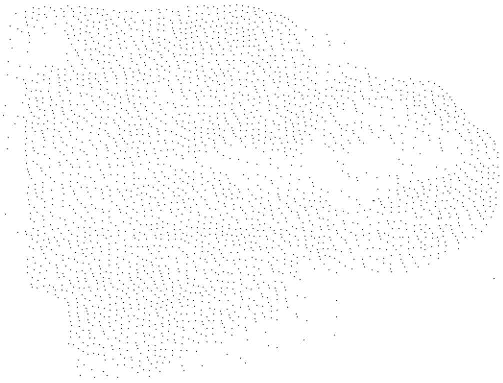
2013年　9月　トリップアドバイザー株式会社 代表取締役 就任

2015年　7月　インバウンドビジネスプロデューサーとして独立、民間から行政まで幅広く
インバウンド戦略・ブランドやプロモーションのプロデュース・東アジアの
マーケティングを支援している

そのほかのポジション:
観光庁世界に誇れる広域周遊ルート検討委員会委員
観光庁観光立国ショーケース検討委員会委員
明日の日本を支える観光ビジョン構想会議有識者
農林水産省食と農の景勝地審査員
スポーツ文化ツーリズムアワード審査員
三重県観光審議会委員
「『楽しい国 日本』の実現に向けた観光資源活性化に関する検討会議」委員

LandReam

Copyright 2017 LandReam inc. All rights reserved.



「伊勢志摩サミット三重県民宣言」

おもてなし、おかげさま、崇敬、寛容、もののあはれ、不易流行、常若、自然との共生・・・。これらは、伊勢神宮をはじめ、私たちのふるさと三重において、悠久の歴史の中、育まれてきた日本人を象徴する文化である。

文化とは、人類が自らの手で築き上げてきた有形・無形の成果の総体である。それぞれの民族・地域・社会に固有の文化があり、相互の交流によって発展する。そして、時代を超えて伝承されていく。日本人を象徴する文化が三重で育まれてきたことは、いわば、三重が「日本の文化聖地」であることを示すものである。

伊勢志摩サミットは、私たち三重県民の「心」と「行動」に変化をもたらした。伊勢志摩サミットの成功は、先人達が時代や文化を自らの手で築き上げたように、まぎれもなく、三重県民一人ひとりが、自らの手で、そして一丸となって築き上げたものである。

これまで、私たち三重県民は、穏やかであるがゆえに“ほどほど”な県民性だと評されることもあった。サミットを経て、積極的に行動し、変化を生み出すチャンスが到来している。このようなチャンスは二度と来ない。今を生きる私たち自身のために、そして未来の三重県民のために、今ここから挑戦する。

伊勢志摩サミットを成功に導いた私たち三重県民なら、必ずできる。
私たちはこれまでの歴史の中で、「多様性への寛容や交流」、「自然との共生」、「伝統・文化の創造と発展」、「安全で平和な社会への祈り」を実践してきた。また、Ｇ７伊勢志摩首脳宣言で示されたような世界的課題に対しても果敢に取り組んできた。こういった経験と、サミットを成功に導いた経験や自信、そして「日本の文化聖地」としての誇りを持ち続けながら、私たちの手で、三重の新たな未来を築き上げるのである。

私たち三重県民一人ひとりが、新たな一歩を踏み出す決意として、ここに宣言する。

２０１６年１１月２７日

【4つの決意】

1　自分とは違うことを価値と認め合い、国内にとどまらず、さまざまな国のさまざまな立場の人たちとつながって、誰もが挑戦、活躍できる社会にします。〔親和〕

1　美しい自然をはじめとする豊かな環境を守り育み、共生して、持続可能な社会にします。〔調和〕

1　三重の伝統・文化を、学び、伝え、創造し、発展させ、心豊かな社会にします。〔和の文化〕

1　安全・安心な社会をつくりながら、平和を強く希求していきます。〔平和〕

※前文における「文化」の定義は、大辞泉による。

事例集

伊勢志摩サミットでは、多くの県民の皆さんに活躍いただき、たくさんの成果が生まれました！

【おもてなし大作戦の県内全市町での展開】

・クリーンアップ作戦　キックオフイベントへの参加者約７００名　６万人以上が活動
・花いっぱい作戦　　　スタートセレモニーへの参加者約３００名　飾花数１１万本以上

【外国語案内ボランティアの活躍】

１，００３名応募。２７７名活動。

【配偶者プログラムでの参加】 延べ１４８名

【官民協働による取組】

官民で協力してテロ等を未然に防止するための取組「テロ対策パートナーシップ」（４４機関が参加）　など

【多様な皆さんの参加】

・配偶者プログラム（女性）
　海女によるお出迎えや交流８５名　　女将団体によるお出迎え９名
・首脳神宮訪問での参加（子ども・若者）
　小学生による植樹のお手伝い２０名　幼稚園児によるお出迎え４６名
・配偶者プログラム(子ども・若者)　食物調理科生徒等による食事の提供１１名
・ジュニア・サミットでの参加（子ども・若者）　延べ５１８名
・配偶者プログラム（障がい者）
　〔お菓子の提供〕シフォンケーキ、サブレ
　〔パラスポーツ体験〕約５０名
・贈呈品（障がい者）
　〔総理夫人から首脳等配偶者への贈呈品ラッピング〕　バッグ　など

その他にも県産食材、県産品などが大活躍し、たくさんの成果がありました！

【県産食材等の使用】

・首脳会議や配偶者プログラム、ＩＭＣにおいて、伊勢エビや伊勢マグロ、アワビ等の海産物、松阪牛や伊賀牛、伊勢茶等の農畜産物、さらには日本酒、加工品など、県内２６市町から、少なくとも２６９品目の県産食材等の使用
・首脳会議用円卓に尾鷲ひのきが使用されたほか、会議用机・椅子などに少なくとも４２品目の県産品、食器類の使用　など

G7 2016 ISE-SHIMA SUMMIT

県民の皆さんが今後さらに活躍していただけるよう、
行政も環境整備を行っていきます。
三重の未来をいっしょに創っていきましょう。

伊勢志摩サミット
三重県民会議

【行動】

1　自分とは違うことを価値と認め合い、国内にとどまらず、さまざまな国のさまざまな立場の人たちとつながって、誰もが挑戦、活躍できる社会にします。

○国籍、性別、考え方、年齢などの「違い」を「価値」と認め付き合います。

○郷土への誇りをもち、さまざまな国の人と積極的に交流します。

○世界に関心を向けて、地球規模で考え、行動します。

○すべての人が能力を発揮し活躍できる環境をつくります。

○サミットでの行動力、成功体験を生かして、新しいことに挑戦します。

・

・

・

〔あなたの行動〕

1　美しい自然をはじめとする豊かな環境を守り育み、共生して、持続可能な社会にします。

○海、川、森林などの自然環境がいま以上に美しく豊かとなるよう、守り育てます。

○自然とふれあい、自然を身近に知り、学びます。

○限りある資源を大切にし、省エネルギーに努めます。

○ごみの減量、再使用や再生利用に取り組みます。

○環境への負荷を少なくするための技術革新に取り組み、また、環境にやさしい製品を使用します。

・

・

・

〔あなたの行動〕

1　三重の伝統・文化を、学び、伝え、創造し、発展させ、心豊かな社会にします。

○伝統行事や祭りに積極的に参加し、三重の伝統・文化に触れ、学び、その素晴らしさを発信します。

○他の文化との交流等により三重の文化を発展させ、魅力ある文化を生み出します。

○地産地消や三重の食材の発信により、三重の食文化を伝えます。

○「おかげさま」という感謝の心で人に接します。

○三重を訪れた人を温かくおもてなしします。

・

・

・

〔あなたの行動〕

1　安全・安心な社会をつくりながら、平和を強く希求していきます。

○さまざまな立場の人と協力し、犯罪や事故等のない安全・安心なまちをつくります。

○自然災害から、自らの身は自ら守るとともに地域のみんなで助け合って防災対策に取り組みます。

○平和への第一歩として、家族や友人、近所、職場など周囲の人を大切にします。

○人と意見が違う場合であっても、意見を尊重し、話し合いで解決します。

○地球上のすべてのものを自分の子どもと思い、大切にします。

○日々の生活において平和とは何かを考え、できることから取り組んでいきます。

・

・

・

〔あなたの行動〕

あなたの行動が三重の未来につながります
あなたはどんなことをしていきますか？